



瑞星第13号の実践事例集「保健管理」の一部を紹介します。発行は、令和4年12月の予定です。発行をご期待ください。

保健管理でも、特色のある取り組みが多く報告されています。

<中学校>
「配慮を要する生徒への健康管理における取組」
～9年間をつなぐ、小中連携で行う保健管理～
小学校からの保健管理における情報を中学へ引き継ぎ、組織的かつ継続的に保健管理を行います。全職員にその情報を周知し、緊急時の対応研修を小中合同で実施した取り組みです。


<中学校>
「個別の保健指導から連携・協働の深化を考える」
～行動科学の考え方を生かしたアプローチから行動変容をめざす～
行動科学の考え方を生かした、個別の保健指導から生徒の行動変容を目指した実践が紹介されています。
行動科学の考え方とは……！！どんな考え方！？


養護教諭のコーディネート力や、組織活動の質を高める実践も掲載！

<小学校>
「養護教諭の学校組織におけるコーディネーターとしての役割の在り方」～校内の緊急体制づくりを通して～
実践的な校内研修をめざし、外部機関と連携し企画・調整を進めた取り組みです。研修から見えてきた課題をもとに校内の緊急体制等を整備し、教職員の危機管理意識や救急処置の知識・技能を高めた実践です。

<特別支援学校>
「養護教諭の連携・調整を生かしたチームとしての取組を目指して」～資質の向上に関する指標（育成指標）を活用した保健管理～
様々な職種がその専門性を生かし、連携した対応を進めている特別支援学校の報告です。養護教諭の育成指標を活用しつつ、保健管理の実践を連携の視点から紹介しています。

現代的な健康課題解決の実践も充実しています。

<小学校>
「学校内外組織と連携・協働した保健管理」
スマホ・タブレットの使い方については、健康面からのアプローチが重要です。校内・保護者・地域の専門家等との連携・協働を図り、これからの世の中を生きる子供たちに必要な力を育成する取り組みを紹介しています。


<中学校>
「子供たちが抱える現代的健康課題を解決するために必要な力を育む」
養護教諭が直接関わることのできる保健委員会・健康相談で生徒が健康な生活を送るために必要な4つの力を育成する実践です。具体的な関わり方が紹介されています。


<高等学校>
「高等学校におけるアレルギー疾患をもつ生徒に対する効果的対応の一方策」
アレルギー疾患は現代的健康課題の一つです。高校生は成人期へ移行する大切な時期であり、親の手から離れ、自己管理に重心が移ります。生徒が自分を正しく理解し、考え、伝える力を育成するための実践です。
